

2020年度の授業

受講者数は、63人でした。新型コロナウイルス感染症の影響で遠隔授業となりましたが、Zoomを使い、LTD話し合い学習法を用いてグループワークを実施しました。グループの割り振りにはブレイクアウトルームの自動割り振り機能を使用し、毎回グループを変更することで、自分以外の様々な受講者の主張を理解することができる仕組みにしました。

受講者の感想

- ◆ 本授業を通して、自分の中に潜んでいた「差別する可能性」と初めて向き合えました。正直自分は差別なんてしたことないと思い込んでいたので、日常や常識に差別意識が根付いてしまっていることを本授業で初めて知りました。差別問題に対して自分のことを省みず、批判ばかりしていた自分を深く反省する良い機会でした。ディスカッションメインの授業形態だったため、様々な考え方に触れながら視野を広げることもできました。（法学部1年生）
- ◆ これまでは、差別はしてはいけないことだ、と思っていました。しかし今回この講義で、課題文を読み、またグループワークを行うなかで、差別を他人事にせず差別をする可能性のある自分を受け入れていく考えを学び、自分自身の差別への考え方を見直すことができました。（教育学部1年生）
- ◆ ただ課題文を読んでいたり、差別はいけないと理解したりするだけでなく、各章ごとに主張やその主張の背景、自分自身との関連付けを行い、それらのことについて話し合うという学習法で、今までとはまた違う方向から理解が進んだと感じました。差別を他人事とせず、常に自分の中にその問題を取り入れて、これからも真剣に考え、少しでも差別が少なくなる方向に持っていけるように私も行動したいと考えました。（医学部1年生）